湾岸メール 2026 Vol.109
2026年3月12日（木）発行
株式会社アーバンメール　東京都新宿区西新宿4−29−6

WAN GAN　木場公園

はじまりは、はらぺこあおむし
エリック・カール展

4月25日（土）ー7月26日（日）
東京都現代美術館

『プレッツェルのはじまり』1995年版
1995年
Collection of the Eric and Barbara Carle Foundation.
© 1972, 1995 Penguin Random House LLC.

『いちばんのなかよしさん』
2013年
Collection of the Eric and Barbara Carle Foundation.
© 2013 Penguin Random House LLC.

作品はすべてエリック・カール、エリック・カール絵本美術館蔵

『はらぺこあおむし』1987年版 表紙　1987年
Collection of the Eric and Barbara Carle Foundation.© 1969, 1987 Penguin Random House LLC.

ページごとに紙のサイズが変わり、あおむしの食べた跡が穴で表現されている絵本『はらぺこあおむし』は、今でも世界中で愛されている。そのアメリカを代表する絵本作家のエリック・カール（1929ー2021）の回顧展が4月25日から7月26日まで、東京都現代美術館で開催される。

アメリカでの初版時、技術的に難しい印刷・製本を日本の会社が引き受けて、世に出ることになり、7年後に美しい翻訳によって、日本語版が出版された。

『はらぺこあおむし』日本語版50周年を記念して、アメリカ・マサチューセッツ州にあるエリック・カール絵本美術館とともに開かれる。

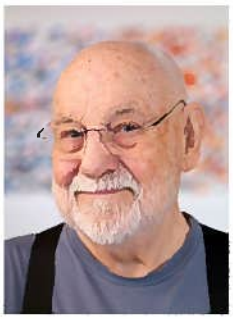
『はらぺこあおむし』（1969年）や『パパ、お月さまとって！』（1986年）、『10このちいさな おもちゃのあひる』（2005年）など27冊の絵本の原画にあわせ、最初の構想段階で作られるダミーブック、コラージュに使用する素材（色や模様をつけた紙）など、約180点が展示される。

絵本は、こども一人ひとりの手に直接届けるために作られた小さなアート。その宝物のような絵本を生み出すには、原画だけではなく、それを絵本という形に落とし込むブックデザインの技術が必要。色鮮やかで光あふれる美しい原画は、自然豊かな環境でのびのびと育った幼年時代の思い出、そしてデザインの技術は、グラフィックデザイナーとして活躍してきた経験によるもので、展示は、絵本作家エリック・カールのデザイナーとしての側面にも光をあて、こどもだけではなく、デザインに関心のある大人にも、この絵本作家の魅力が紹介されている。

会場にはフォトスポットや読書コーナーもあり、イベントも開催予定。東京都現代美術館は広い木場公園内にあり、ゆっくり散策も楽しめる。

東京都現代美術館

- 小学生以下は入場無料（保護者の同伴が必要）。
- 託児サービスの実施あり。開催日時は決定次第、展覧会公式サイトでお知らせ。
- 授乳室、ベビーカーの貸し出しあり。
- 人混みや物音が苦手などの感覚特性のある方のため、仮設のカームダウンスペースを用意。その他、イヤーマフやフィジェットトイの貸し出しなどもある。
- 館内のレストラン「100本のスプーン」では、月齢に合わせた離乳食を無料で提供。



エリック・カール
© The Eric Carle Museum of Picture Book Art, Inc

東京都現代美術館
〒135-0022 東京都江東区三好 4-1-1（木場公園内）
TEL：03-5245-4111（代表）　https://www.mot-art-museum.jp/
東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄大江戸線「清澄白河駅」より徒歩９分など